

- 問1 インドにおいて、連邦公用語であるヒンディー語とともに、英語が「準公用語」として広く普及している歴史的な理由として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. かつてイギリスの植民地であったため、行政や教育の場で共通の言語として使われてきた。 | 2. 1947年の独立後、アメリカ合衆国とのIT産業での連携を深めるために国策として導入された。 | 3. かつてフランスの植民地であったため、周辺諸国との貿易において共通の言語とされた。 | 4. かつてスペインの植民地であったため、キリスト教の布教活動とともに言葉が浸透した。 |
|--|--|---|---|
- 問2 21世紀に入り急速な経済成長を遂げているアジアの国に関する説明です。2019年の統計において、自動車生産台数が約452万台に達し、アジアでは中国、日本に次ぐ第3位（韓国やタイを上回る規模）となっている国を次の中から選びなさい。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|-------|-------|
| 1. ベトナム | 2. インド | 3. 韓国 | 4. タイ |
|---------|--------|-------|-------|
- 問3 日本がエネルギー資源の多くを依存している西アジアの地域について、その地理的特徴と原油輸出に関する記述として正しいものはどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 西アジアの産油国はすべて内陸国であり、鉄道を利用して東南アジアの港まで原油を運んでから日本へ輸出している。 | 2. アラビア半島の大部分を占めるサウジアラビアは、ペルシャ湾沿岸に位置し、日本にとって最大の原油輸入先となっている。 | 3. 日本はかつて西アジアからの輸入に頼っていたが、現在は北アメリカからの輸入がサウジアラビアを抜いて最大となっている。 | 4. アラブ首長国連邦は地中海沿岸に位置しており、パイプラインを用いてヨーロッパや日本へ原油を安定供給している。 |
|--|---|--|--|
- 問4 プランテーション農業が、熱帯地域などの発展途上国において現在も広く行われている理由や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 土地の生産力を維持するために、家畜の糞尿を肥料として活用し、複数の作物を輪作する仕組みを整えているから。 | 2. 先進国からの技術導入により、機械化を徹底することで労働力不足を補いながら自給自足を達成するため。 | 3. 輸出用の特定作物を効率よく大量生産するために、大規模な土地と低賃金の労働力を活用しているから。 | 4. 砂漠化を防ぐために、灌漑施設を整備して特定の農作物を現地消費用に栽培することを国策としているから。 |
|---|---|--|--|
- 問5 紀元前2500年頃、南アジアのインダス川流域で成立した古代文明について述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|----------------------------------|
| 1. ナイル川の氾濫を予測するために天文学が発達し、太陽暦が作成された。 | 2. チグリス川とユーフラテス川の間に位置し、楔形文字を用いて記録が行われた。 | 3. レンガで舗装された道路や排水溝が整備された、計画的な都市構造を持っていた。 | 4. 黄河の流域で発生し、甲骨文字を用いて占いや政治が行われた。 |
|--------------------------------------|---|--|----------------------------------|
- 問6 インド半島の中央部には広大な高原が位置しており、そこに含まれる肥沃な土壌は水分を保つ性質があるため、特定の作物の栽培に適しています。この地形の名称とその場所で盛んな作物の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------|-----------------|------------------|---------------|
| 1. チベット高原 ― 茶 | 2. エチオピア高原 ― 小麦 | 3. ブラジル高原 ― コーヒー | 4. デカン高原 ― 綿花 |
|---------------|-----------------|------------------|---------------|
- 問7 地理的な距離の近さや工業製品の生産力の高さを背景として、中国から日本への輸出額は約19兆円に達しています。この状況を説明する背景として、最も適切な内容を選択してください。 (2021年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 日本との間に自由貿易協定が締結されたことで、全ての農産物に対する関税が完全に撤廃されたため。 | 2. 広大な国土で生産される鉄鉱石などの鉱産資源が、日本の重化学工業を支える主要な原料となっているため。 | 3. 日本の多くの企業が生産拠点を移転し、現地で製造された製品を日本へ逆輸入する仕組みが整っているため。 | 4. 広大な農地を活用した大規模農業により、小麦やトウモロコシなどの穀物を低価格で大量に日本へ供給しているため。 |
|---|--|--|--|
- 問8 2013年の世界の小麦需給に関する統計において、ある国は生産量が約1億2193万トンと主要4か国の中で最大ですが、輸入量が約567万トンであるのに対し、輸出量は約56万トンと生産量に比べて極めて少なくなっています。この統計に該当する国名と、その食料需給の特徴の背景として正しいものはどれですか。 (2020年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 中国：膨大な人口を抱えて国内の食料需要が非常に高く、世界有数の生産量があってもその多くが国内で消費されるため。 | 2. インド：伝統的な自給的農業が中心であり、生産量が多いものの品質が国際基準に満たず、輸出が制限されているため。 | 3. ロシア：広大な国土を持つが、冷帯の厳しい気候により生産が不安定で、不足分を補うために輸出よりも輸入を優先しているため。 | 4. アメリカ合衆国：広大な農地で企業の穀物農業を行い、国内需要を大幅に上回る生産量を確保して世界最大の輸出を行っているため。 |
|--|---|--|---|
- 問9 アラブ首長国連邦から日本への輸出額の内訳において、原油や液化天然ガスなどの資源が約9割を占めている現状から推察される、日本のエネルギー事情に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2025年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 日本はこの国との貿易において、工業製品の輸出額よりも資源の輸入額の方が極めて少ない「貿易黒字」の状態にある。 | 2. 日本は国内で消費する原油の大部分を自給できており、この国からの輸入は補完的なものである。 | 3. 日本は発電や輸送に欠かせない化石燃料の多くを、特定の地域や国に依存している。 | 4. 日本はこの国から、鉄鋼の原料となる鉄鉱石や石炭を、原油以上に大量に輸入している。 |
|---|---|---|---|
- 問10 西アジアに位置するサウジアラビアの貿易統計において、輸出額全体の6割以上（約65.6%）を占めている主要な地下資源があります。この資源は精製されることでガソリンなどの燃料や、プラスチックの原料として利用されますが、この資源の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|---------|
| 1. 石炭 | 2. 鉄鉱石 | 3. 原油 | 4. 天然ガス |
|-------|--------|-------|---------|
- 問11 マレーシアの国土統計において、森林面積の割合が約58.2%と非常に高くなっている理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 熱帯に位置し、年間を通じて気温が高く降水量が多いため、熱帯雨林が発達しているから。 | 2. 温帯に位置し、季節風の影響による適度な降水が、落葉広葉樹の成長を助けているから。 | 3. 乾燥帯に位置しているが、近年の積極的な植林活動によって人工林が急増したから。 | 4. 冷帯に位置し、タイガと呼ばれる広大な針葉樹林帯が国土の大部分を占めているから。 |
|--|---|---|--|
- 問12 1970年代に発生した石油危機（オイル・ショック）の際、石油の減産や価格の引き上げを行い、世界経済に大きな影響を与えた「石油輸出国機構」の本来の設立目的について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 先進工業国への石油輸出を禁止し、国内産業の自給自足を図ること | 2. 石油の消費量を減らし、地球温暖化を防止するための国際協力 | 3. 国際市場における石油価格の安定と産油国の経済的利益の確保 | 4. 石油に代わる太陽光や風力などの再生可能エネルギーを共同開発すること |
|-----------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|